

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 22 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|-------------------------------|
| 小委員会名 | 基礎構造系振動小委員会 | 主 査 名：飯場正紀 就任年月：2009 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 振動運営委員会 | 委員長名：中島正愛 主 査 名：福和仲夫 |
| 設 置 期 間 | 2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> ・建物と地盤の動的相互作用（建物周期や減衰定数及び建物への入力地震動）が建物・基礎の地震時応答に与える影響を明確にすることを目的とする。 ・4 年間の研究計画の作成 ・2010 年度本会大会 PD（地盤震動小委員会と共同）に向けた準備 ・相互作用を取り入れた簡易な計算法、設計例、計算例の見直しに向けた検討 ・基礎の二次設計に向けた研究計画の検討（基礎構造運営委員会・杭基礎の耐震設計小委員会との連携） | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | |
| | 主査：飯場正紀（建築研究所） 幹事：田守伸一郎（信州大学）、護 雅史（名古屋大学） 委員：新井 洋（建築研究所）、泉 洋輔（呉工業高等専門学校）、木村 匠（清水建設）、古山田耕司（鹿島建設）、田村修次（京都大学）、中井正一（千葉大学）、永野正行（東京理科大学）、藤森健史（大林組）、船原英樹（大成建設）、宮本裕司（大阪大学）、柳下文雄（東電設計）、吉澤睦博（竹中工務店） | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | なし | |
| 2009 年度予算 | 390,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数 | 5 回（年度内計画を含む） |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 全委員で内容が共有できる 4 年間の活動計画が作成でき、それぞれ研究項目の分担が整理できた。 2. 委員会開催数がやや少なく、やや進捗が遅れている。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 遠方の委員が多く、旅費については苦勞している。委員会の開催頻度が少なくなっている。 |